

パラスポーツは企業課題のソリューションに —— 応援と感謝が“結果を出す社員”を育てる

【8 月のトピックス】

- トピックス 1： パラスポーツは企業課題のソリューションに
- トピックス 2： 次世代会議 — 「感謝」が教えてくれた、世界への道
- トピックス 3： 全日本選手権とパートナー募集
- トピックス 4： 広報窓口開設と取材のご案内

トピックス 1： パラスポーツは企業課題のソリューションに

8/27 に開催された「TEAM BEYOND CONFERENCE」にて色々な事例を学び、カンファレンス後にはあらためてパラ・パワーリフティングが企業の皆様や社会にもたらす価値とは？を考え、再整理しました。その内容とは・・・

【企業様が活用いただけること 3 つ】

- ・**体験会**: ステージでバーベルに向かう選手 1 人に観客の応援は集中する、という競技性から、「応援する & される」という応援を活用した、チームビルディングや社員のモチベーション向上を目的とした参加型プログラム。
- ・**選手講演会**: 選手の挑戦のストーリーから、社員教育や人材育成に仕事や人生に役立つ学びを提供します。
- ・**共創パートナーシップ**: 企業のマーケティングや CSR 活動と連携し、パラ・パワーリフティングの活用効果をアンケート等を用いて具体的な数値で証明する取り組みを共に行います。

【パラ・パワーリフティングを活用するメリット 3 つ】

・結果を出す社員の育成

脳科学の研究では「脳は主語を区別しない」とされ、他者への応援の言葉は自分自身の脳にもポジティブな作用をもたらすといわれています。実際に、陸上でパフォーマンスが向上したという研究結果もありました。

さらに、結果とは「心 × 行動」で決まると私たちは考えており、どんな心の状態で行動するかが成果を大きく左右すると言えるのでパラ・パワーリフティングの応援を活用することで、社員の心 = 行動の“質”をより良い状態に導き、「結果」そのものを高めることができます。

・モチベーション向上と幸福度の増進

感謝を言葉にすることで幸福ホルモンの分泌が促され、幸福度が 25% 向上するとも言われています。社員同士が「応援」と「感謝」を循環させることで、前向きな組織文化が育まれます。

パラ・パワーリフティングでは、観客の応援を一身に受けた選手が、ステージ上で感謝の気持ちを表す場面が多く見られます。「感謝の習慣が挑戦を支えている」と語る選手もいます。こうした文化を職場に取り入れることで、「ありがとう」が飛び交う環境が生まれ、社員の自己効力感が高まり、困難な課題にも挑む力を育むことにつながります。

・チームエンゲージメントの強化

競技特性である「一人に全員の応援が集まる」場面を活用した体験会では、社員同士の一体感や信頼関係が深まります。

【活用事例は？】

他社様の活用事例のご紹介や、この価値を体感いただけるよう、「企業交流会」を 11 月に企画中です。組織課題を解決する具体的なヒントが得られる場を提供したいと思っています。

トピックス 2：「次世代会議」 お題 ― 大切にしている言葉や名言を持ち寄ろう

選手とスタッフが垣根を越えて未来を語る「次世代会議」を毎月開催しています。8 月のテーマは「大切にしている言葉や名言の共有」。ここでも「応援」と「感謝」の力が浮き彫りになりました。

このお題を選んだのは、「脳は主語を区別せず、他者への言葉も自分への言葉として認識する」、だから応援することや、いい言葉を発することは、人のためでもあり、自分のためでもある、という考えを共有するためでした。印象に残ったお話をご紹介します。

「感謝」が教えてくれた、世界への道

世界選手権出場が決定している 田中翔悟選手 が大切にしている言葉は「感謝」。きっかけは、まだ 4 歳だった娘さんから、「パパはどんな気持ちで練習に行ってるの？」と問いかけられたことでした。

田中選手はハッとさせられました。それまで、今日の練習をどうこなすかという「目先の行動」だけを考えていたことに気づかされたのです。しかし、娘さんの「わたしは、パパに世界一になってほしいと思ってるよ」という言葉に触れ、自分の挑戦は、支えてくれる家族や仕事仲間といった「周りの存在」のおかげだと感謝の思いがめぐり、トレーニングへの向き合い方が根本的に変わりました。

その後、練習場には神棚を置き、毎回「何のために練習しているのか」と自分に問いかける習慣が。感謝を持って取り組むことで、練習の質は飛躍的に向上したと実感している、とのお話をシェアしてくれました。

トピックス 3：全日本選手権とパートナー募集

「緊張・爆発・歓喜の 3 秒ドラマ」が繰り広げられる、世界レベルの戦いを多くの観客、そしてメディアの皆様にご体感いただきたく、「第 26 回全日本パラ・パワーリフティング国際招待選手権大会」開催を 8 月に発表しました。

2026 年 1 月 17 日（土）～18 日（日）開催されます。2028 年ロスパラリンピックに向けて重要な意味を持つとともに、2026 年名古屋で開催されるアジパラに向けても重要な意味を持つ試合となります。

大会のキャッチコピーは「**Collaboration makes us Stronger**」。

この理念に共感し、共に選手の限界への挑戦と感動のドラマを創り出す共創パートナーを 12 月中旬まで募集しています。

トピックス 4：広報窓口開設と取材のご案内

この度、連盟公式ウェブサイト「広報窓口」を新設いたしました。パラ・パワーリフティングを活用した企業の課題解決や、選手の挑戦に関する取材など、お気軽にお問い合わせください。

- 広報窓口: <https://service.press-camp.jp/pcamp/event/631>
- 競技に関する取材: 毎週月・水・土、東京都パラスポーツトレーニングセンターでの練習会
- 事務局に関する取材: パラ・パワーリフティング活用に関する事務局活動や次世代会議については、いつでもご相談ください。

[イベント情報]

- イベント名: パラ・パワーリフティングがお届けする「企業交流会」

- **日程:** 2025 年 11 月中旬実施予定で日程調整中
- **会場:** 都内（銀座近辺）で調整中
- **目的:** パラ・パワーリフティングの活用事例紹介等

パラ・パワーリフティングは「応援」と「感謝」を循環させることで、選手だけでなく社員や組織の力を引き出す競技です。8 月の活動が、その価値を企業の現場へと広げる大きな一歩となるよう、9 月も選手強化と事務局部門両輪で活動してまいります。